

一社員として 仕事を任せる

日本マクドナルド(株)(以下、マクドナルド)では、性別や年齢、国籍にかかわらず、さまざまな個性や背景がある人たちが、生き生きと働くことのできる職場づくりに積極的に取り組んでいます。「チャレンジクルー(障害者雇用)」もその一つ。知的障害があり、19年にわたり青梅街道関町店でクルー(従業員)として働く東美名子さん、店長の鷲田晃暢さんにお話を伺いました。



店長の鷲田さんと東さん

好きだから働き始めました!

青梅街道関町店は、席数120席の中型店。お昼時の混雑が落ち着いた店内には、ごみ箱の前で仕事をする東さんの姿がありました。ボックスの中には、ハンバーガーの包装紙やドリンクのカップがあふれんばかり。新しいごみ袋に交換し、ごみは速やかにバックヤードへ持っていきます。東さんは主に店内やキッチン、スタッフルームの清掃、キッチンで使う資材の補充を担当し、週5日働いています。

マクドナルドで働き始めたのは、「ポテトが大好き



トレイを一枚一枚丁寧に拭く東さん

だから」と笑う東さん。「仕事は楽しい」と話してくれました。店長の鷲田さんは「清掃や資材の補充などは、お客さまのためはもちろんのこと、他のクルーが働きやすいようにするための大切な仕事です」と語ります。

分け隔てのない環境が続けられるコツ

鷲田さんによれば、資材の補充、清掃のタイミングなどは、東さんの判断に任せているそう。障害があるからといって区別や特別扱いはなく、「褒めるときは言葉にしてきちんと伝えますし、注意するときははっきり言います。『美名子さん、さぼっちゃだめだよ!』と他のクルーから声が掛かることもあります(笑)。こうした分け隔てのない環境が、彼女の中では働きやすさや仕事の面白さにつながっているのではないのでしょうか」と鷲田さん。常日頃からクルー同士が言いたいことを言い合える土壌があり、ク

ルー同士の交流を深める活動も活発で、東さんも必ず出席しています。

共に歩んできた19年

レインボーワークは東さんを緩やかに見守り、年に1回、仕事や生活面について面談を行っています。東さんは勤続年数が長く、職場のサポートもしっかりしているので訪問頻度は少ないですが、必要があれば職場との間に入ったり、ご家族と連絡を取ったりするなど対応します。「レインボーワークといった相談先があるのは心強いですね。人それぞれ個性があるように、障害についても同じ。特別扱いするのではなく、一社員として接していくことが大切だと思います」と鷲田さん。障害者雇用は、障害を理解した上でそれを個性と受け取り、仕事をシェアしていくことだと、鷲田さんの言葉は語っています。

心を込めて作りました / 障害者施設で作る 商品を販売!

素材にこだわって作ったお菓子や雑貨などを販売しています。ぜひ、お買い求めください。

▶問合せ:就労支援係 ☎5984-1387



エコファイル (Hot Job)



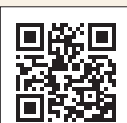
チョコチップクッキー (ウイズタイム)



ピクルス (あんずの家)

インターネットで買える! ねりいちポータル

区内の障害者施設の商品を集めたポータルサイトです。お気に入りの商品を見つけてください。



障害者施設28店舗が出店! ねりいちマーケット

▶日時:9月14日(木)・15日(金)
午前10時~午後2時
▶場所:区役所アトリウム



出店情報はねりいちエクス(旧ツイッター)をチェック▶

